

小学校3年生 6月授業参観 社会科授業（案）

1) これまでの流れ

- ・ 校区探検をしてきている。 ・ 白地図に、校区探検で発見したことなどを書き入れている。
- ・ 白地図で、多く集まっている場所に色を塗っている。

2) 準備するもの

- ・ 校区の地図…「住宅地」を青、「商店」を赤、のように、色分けされている。
- ・ (準備できれば) 校区探検の時の写真…様子がわかるもの。

3) 板書

家や店が、かたまっているのは、どうして？		
家・店・家のようにならなくて	校区探検後に作成した、大きな地図（色分けがされている。）	家と店がかたまっている
○音や光が、住んでいる人のじゃまになるかもしれない。 ○お店があると、人が集まってきた、安全ではないかもしれない。 ○家も店も、広さがなくなってしまうかもしれない。	住んでいる人が、くらしやすいようにしているんだね。	○買い物に来たときに、一度にいろいろなお店で、買い物ができる。 ○そうすると、お店にとって、おたがいにもうかる。 ○道路が広いところにお店があると、安全でこまない。
こまること		べんりなこと

4) 授業の流れ

- ①地図に色分けをしてみると、「家が多いところ」「店が多いところ」と、わかれていることが多いことを確認。
- ②「家一店一家」の方が、すぐ買い物に行けそうで、便利だけど、そのようになっていないで、それぞれが「かたまっている」ということをおさえる。
- ③「それはどうしてかな？今日は、それを考えてみよう。」と、流していく。
- ④ノートに、書かせる。…机間指導をしながら、「ばらばらだと、そういうことがこまるんだね。」「集まっていると、これは助かるね。」といったことを言いながらまわるとよい。
- ⑤発言は、板書のように出させていく。同じような発言も、進んで発表させるとよい。
- ⑥授業のゴールでは、「住んでいる人がくらしやすい」とまとめるとよい。
- ⑦校区探検でまわったところだけが、このように集まっているのかな？他の場所はどうか？と投げかけて、自分が住んでいる場所はどうかを調べようと意識づける。

5) 授業をするにあたり

- ①校区内も、場所によって、「違い」があると思います。そこに着目させます。
- ②道路の太さや、駅、バス停などと結びつけて、「バスが停まったら、仕事帰りに買い物がしやすいよ。」といった言葉が出てくると、なおよいと思います。